

平成21年 7月1日
沖縄電力株式会社

平成21年度離島独立型系統新エネルギー導入実証事業の採択について

当社では、環境問題、特に地球温暖化問題への対応を経営課題の最重要課題のひとつとして位置付けて取り組んでおり、その対策のひとつとして、太陽光や風力などの新エネルギーの導入を積極的に進めています。

この度、新エネルギーの導入推進のひとつとして、当社は、経済産業省資源エネルギー庁の標記事業に応募し、当社提案が採択されましたのでお知らせします。

採択内容は、系統規模の異なる宮古島、与那国島、北大東島および多良間島の独立型電力系統へ、太陽光発電設備を大量導入した場合の実系統へ与える影響を把握するとともに系統安定化対策に関する実証試験を行うものです。

今回の実証試験では、各自治体のご協力のもと、これらの離島に太陽光発電設備や蓄電池を設置し、蓄電池の充放電により太陽光発電の不安定成分を吸収することで電力系統に影響を与えない運用方法を確立して行きます。

【事業について】

- (1) 工事開始：平成21年8月（予定）
- (2) 実証試験場所：沖縄県宮古島、与那国島、北大東島、多良間島
- (3) 太陽光発電システムの予定規模：宮古島 4,000kW、与那国島 150kW、北大東島 90kW、
多良間島 230kW

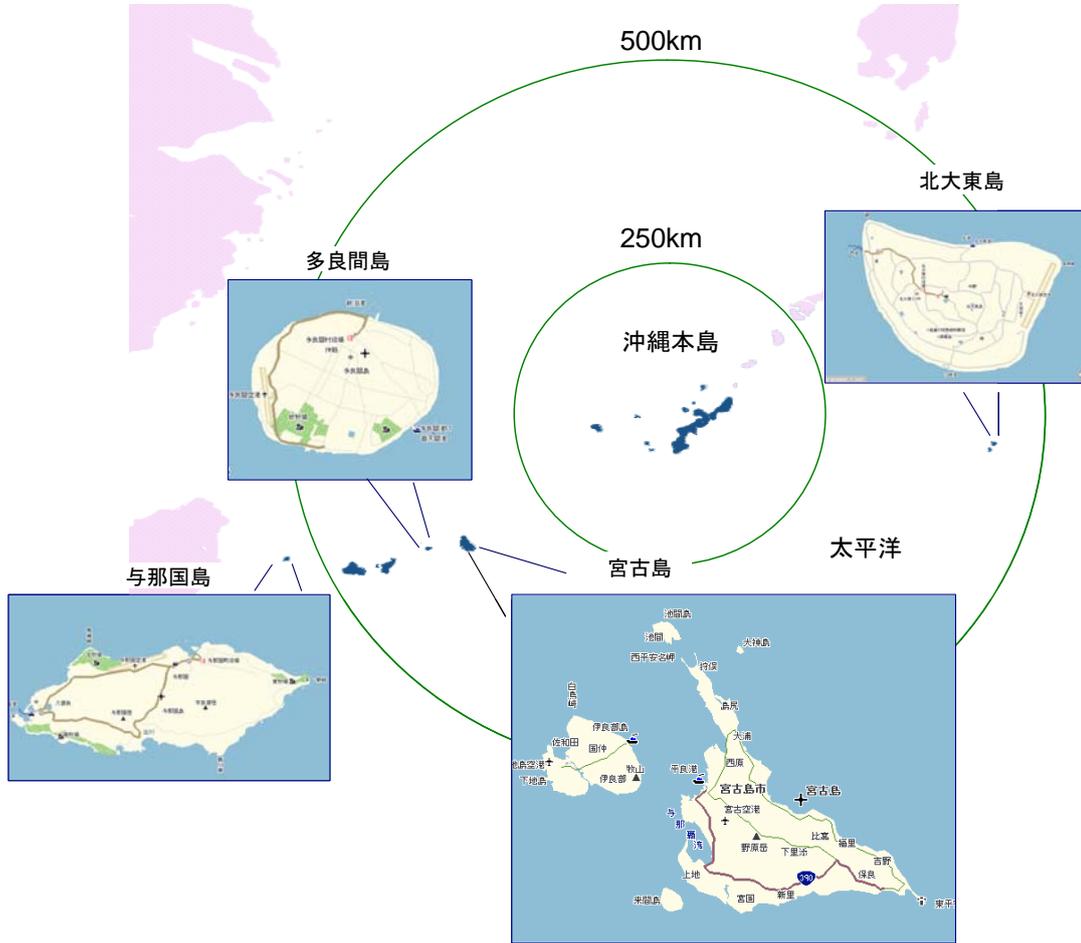
添付資料

別紙：宮古島・与那国島・北大東島・多良間島における実証試験場所の位置図及び設備概要

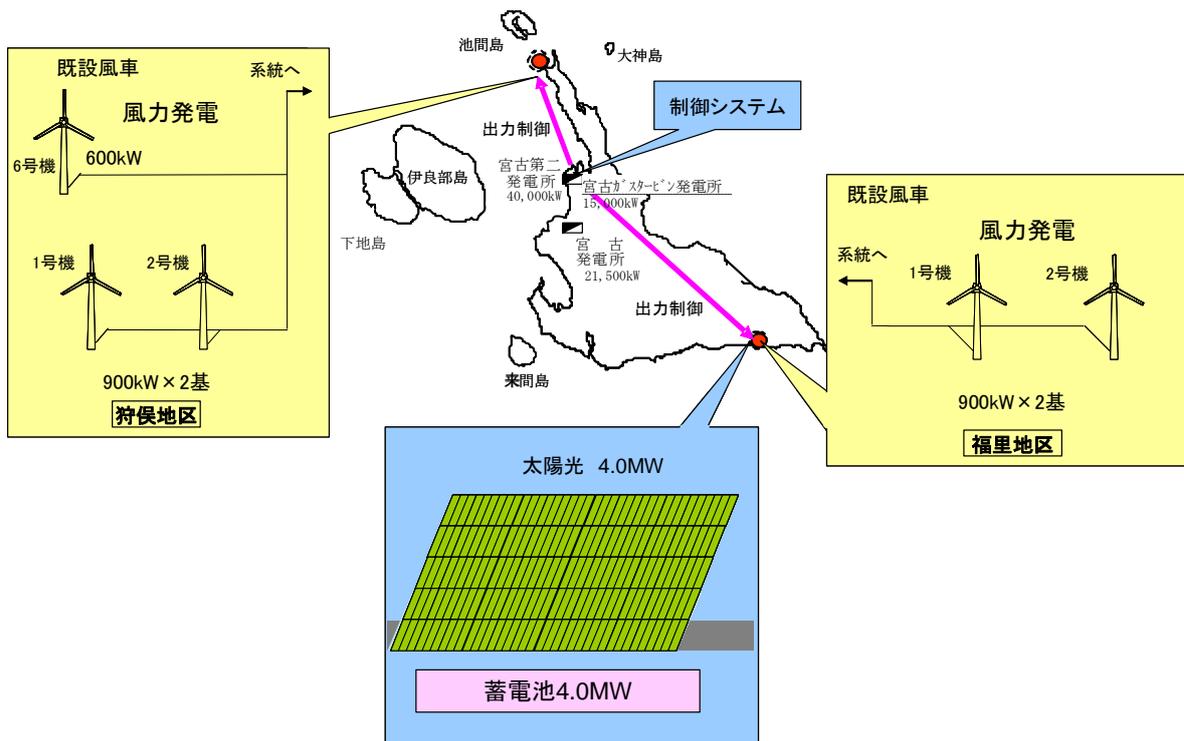
以 上

宮古島・与那国島・北大東島・多良間島における実証試験場所の位置図及び設備概要

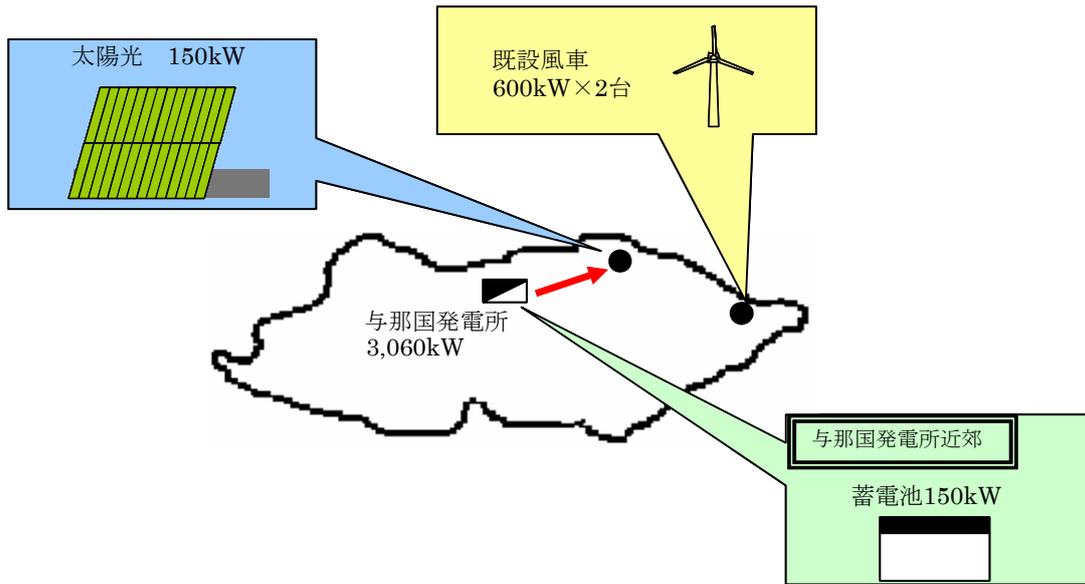
【宮古島・与那国島・北大東島・多良間島の位置図】



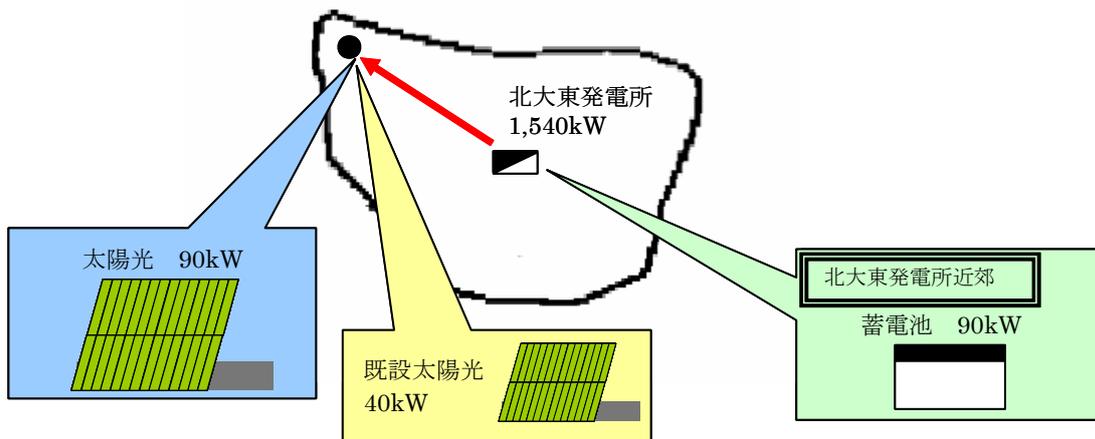
【宮古島系統実証試験設備の概要】



【与那国島系統実証試験設備の概要】



【北大東島系統実証試験設備の概要】



【多良間島系統実証試験設備の概要】

